日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	自動車検査基礎

科目基礎情報

開設学科	一級自動車整備科	コース名	なし	開設期	後期
対象年次	２年次	科目区分	必修	時間数	23時間
単位数	１単位	授業形態	講義		
教科書/教材	適時レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料などは、授業中に指示する。				

担当教員情報

担当教員	大瀧昇利、山本昌孝、圷裕光、須藤竜二	実務経験の有無・職種	有・一級自動車整備士、自動車整備士

学習目的

「自動車の検査とは何か」という問いに対し、１年次で学習した自動車の知識をより詳しく、自動車の整備法規である保安基準をもとに、点検及び検査方法を理解出来る。また、実習授業において自動車の安全かつ正確な作業、点検、故障診断に繋げることがねらいであり、各項目をしっかりと理解し国家二級自動車整備士となるために必要な知識を習得することが目的である。

到達目標

自動車装置の機能、構造、点検方法を理解することで自動車整備士となるために必要な知識を学び、自動車装置一つ一つの重要性を理解することが出来るようになること、実車両における装置の作動状況をイメージ出来るようになること、社会及び自動車業界で業務を行うために必要な能力を具体的にイメージ出来るようになること、国家二級自動車整備士資格の取得を目標とする。

教育方法等

授業概要	三級の教科書で学んだ事を復習し、各自動車構成部品の繋がりを意識しながら、自動車の保安基準を理解出来るように授業を進める。項目ごとに理解度確認テストを行い、短期的な目標を設定することで学生が項目ごとの理解度をしっかりと認識する。事前学習、復習をしっかりと行い、この授業に参加する学生が二級国家自動車整備士資格を取得出来ることを目指す。
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。教員の指示に従い、勝手な作業を行わないこと。不明な点は教員に確認し、理解を深める努力をすること。ただし、授業時数の４分の３以上出席しない者は補習が完了するまで評価を行わない。

評価方法	種別	割合	備　　考
	試験	**80%**	試験を総合的に評価する
	小テスト	**20%**	授業内容の理解度を確認するために実施する

授業計画（１回～６回）　※授業内容や順番は変更する可能性がある

回	授業内容	各回の到達目標
１回	保安基準（用語の定義・寸法等）	自動車の保安基準においての用語の定義や自動車の寸法について理解する
２回	保安基準（操縦装置・舵取り装置）	操縦装置及び舵取り装置の保安基準について理解する
３回	保安基準（燃料装置・電気装置）	燃料装置及び電気装置の保安基準について理解する
４回	保安基準（巻き込み防止装置）	巻き込み防止装置の保安基準について理解する
５回	保安基準（乗降口、非常口、窓ガラス）	乗降口、非常口、窓ガラスの保安基準について理解する
６回	保安基準（灯火装置）	灯火装置の保安基準について理解する